

Catalogue No.  
20693-14

うつわの先生と、ちいさな質問タイム。

# 器のひみつ、教えて!

美濃焼のことをもっと知りたくて、うつわの先生に質問してみました。

陶器と磁器のちがいがから、長持ちさせるまで。

知っていると、器がもっと好きになる。そんな7つのひみつをご紹介します。

うむ、それは  
良い質問だね

先生、なんで器って  
色々あるんですか?



## ひみつその1



先生、陶器と磁器って何がちがいますか?



いい質問だね。陶器は土のあたたかみを感じられる器で、水を少し吸ったりするんだ。磁器は石からできていて、白くてつるつる、水も通さない。焼く温度も違うんだ。指でトントンはじくと、陶器は「コンコン」、磁器は「キーン」と鳴るのもおもしろいね。



コンコン? キーン? 指で弾けば、  
器のちがいが見えてくる。

## ひみつその2



器って、全部手づくりじゃないのですか?



今は、機械の力も借りているんだ。器のかたちを自動で整える機械や、釉薬をスプレーみたいにかける装置もあるよ。でも大切なところは、やっぱり人の手と目で仕上げているんだ。いい器は、手仕事と技術の両方から生まれてるんだ。



ボタンひとつで整う形。  
でも最後は、手の感覚で仕上げていく。

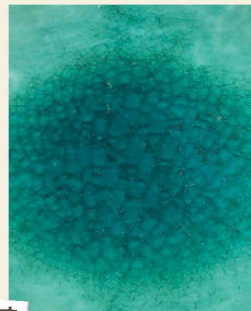
## ひみつその3



器に細かいひびが...これって大丈夫ですか?



貫入(かんにゅう)とは、陶器の釉薬表面に入る細かなヒビ文様のことだよ。これは割れてしまったわけじゃなく、焼き物が冷えるときに、素地と釉薬の縮み方の違いで自然にできるものなんだ。光のあたり方や時間の経過で文様が深まり、ひとつひとつ違った味わいになるのも魅力。昔から茶碗や花瓶などに使われていて、「景色」として大切にされているんだ。



偶然が生み出す  
唯一無二の文様